

目次

生前鑄造	武井 敏……………1
令和の改修工事	幅谷 啓子……………2
《宮内氏像》について	武井 敏……………3
萩原守衛のロダン訪問	武井 敏……………6
中原悌二郎の写真コレクション(一)	武井 敏……………15
《若きカフカス人》と旧制新潟高等学校 — 中原悌二郎を支えた妻信の愛 —	山浦 健夫……………21
木村五郎の石膏原型 — 彫刻制作における星取り法、技法書等 —	武井 敏……………32
令和三年 日記抄	……………39
サポートメンバースhip参加法人 令和四年度企画	……………40
令和三年度役職員ほか	……………40

令和の改修工事

館長 幅谷啓子

一九五八年(昭和三十三年)、約三〇万人の寄付により碌山美術館の本館(碌山館)は建築家今井兼次氏(桃華楽堂設計者)の設計で誕生しました。

三三年後の一九九一年(平成三年)に入館者の少ない冬季の一月二五日から閉館をして八三日間に及ぶ大改修を行いました。その工事では、瓦の葺き替え、窓枠の取り換え、外装の浮きレンガの補強、内装の塗り替え等を行いました。

平成の大改修から三〇年が経ち、最近では大雨の季節になると、室内の壁に雨が浸みだすことがありますし、雨樋も傷んできました。この建築物は安曇野のランドマークでもあり、二〇一〇年(平成二二年)には登録有形文化財に指定されています。今後も多くの方々に愛され続けていくため、私どもはなんとか早期に補修しなければなりません。そのため建設に当たった清水建設に補修箇所調査・見積りを依頼いたしました。傷の小さいうちに補修を終わらせたいと考えておりましたが、想像以上に多額の費用が必要になりました。そこで文化財建造物の補助金制度やクラウドファンディングを利用することを考えているところです。開館当初に多くの方に寄付をいただき誕生した美術館ですので、改修費用を工面するためのクラウドファンディングを立ち上げた際には皆様のご支援を仰ぎたいと考えております。その折には何卒よろしくお願ひ申し上げます。